



【理念】

「愛し愛される病院」

【基本指針】

- 1、私たちは、患者様、ご家族に「おもいやり」をもって接します。
- 1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
- 1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
- 1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
- 1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。

【患者様の権利】

- 1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります
- 2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります
- 3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります
- 4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります
- 5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります

ごあいさつ

平成20年に全病棟回復期リハビリテーション病棟へ機能変換し12年目となりました。

平成31年2月25日から27日にかけての3日間病院機能評価を受審しました。

「患者の視点に立った、良質な医療の実践」が具体的に示され4つの評価対象領域(患者中心の医療の推進(第1領域)・良質な医療の実践(第2・3領域)、理念達成に向けた組織運営(第4領域)をもとに審査されました。今回で3回目の受審となりました。過去2回の受審で改善してきたことを生かし、全職員が団結し受審に臨みました。結果は6月7日に改善要望事項もない「認定」の審査結果の報告をいただきました。受審をするたびに質改善活動の評価がなされ身の引き締まる思いです。今後も評価に甘んじることなく患者さまに真摯に向き合い回復期リハビリテーション病院の社会的ミッションである、寝たきり防止しADL・QOLの向上させ在宅復帰を目標に取り組んでいきたいと思っております。

入院面談について ～安心して入院を迎えるために～

「杉並リハビリテーション病院へはどうしたら入院できますか？」と聞かれることがあります。基本的には他の病院(脳卒中や大腿骨骨折等の治療目的で入院中の病院)からの紹介で転入院することになります。(図1参照)

当院では入院前に入院面談を行っています。入院面談は、入院を希望もしくは検討している患者さまのご家族や協力者(知人、職場の方など)に、地域連携相談室の医療相談員(MSW)が行っている『病院見学と面談』で、所要時間は約1時間、事前予約が必要です。昨年度は532件の面談を行いました。(表1参照)

『病院見学』では、リハビリテーション室や居室・食堂など10～15分程度で院内をひと回りし、設備や雰囲気を見ていただきます。『面談』では、入院に必要な持ち物・入院費・入院期間・入院生活上のルールなどの説明を行い、さらに患者さまのこれまでの生活の様子・既往歴・ご家族構成・住環境・リハビリに対する希望などをうかがいますので、40～50分程度かかります。

なぜ入院面談にこれほど時間をかけるかということ、そこには2つの理由があります。一つは、入院した後に「知らなかった、聞いていない、こんなはずではなかった」ということが起きないようにご理解・ご納得のうえで安心して入院生活をスタートしていただきたいということ。もう一つは、患者さまとご家族・協力者がどのようなご希望をお持ちでどのような事情を抱えどんな不安や心配があるのかを予め把握し、多職種で共有し、出来得る限りの準備を整えて、入院をお迎えしたいという目的からです。前者は面談するすべての方に共通ですが、後者は個人情報に深く立ち入った内容となりますので、当院への入院希望が固まっておらず検討している段階の方には、必要最低限の聞き取りで終了するよう配慮しています。また、どうしてもご家族の都合等で入院面談に足を運ぶ時間が取れない場合や転院を急ぐ場合などは、来院ではなく電話にて対応しています。

入院相談される患者さまの中には、身寄りのない方、家族がいても連絡の取れない方、また、家族も高齢で判断力が低下している方などがおられ、転院先が見つからず困っている、という話をよく聞きます。当院ではこのような患者さまにもリハビリ機会が保障されるよう、患者さま本人に関わりを持つ“関係者”(例えば、地域包括支援センター、ケアマネジャー、各市区町村行政担当窓口の方等)との協力体制を構築し、ご本人に緊急事態が発生した際

の対応方法を予め確認することで、入院を可能にしています。そのため、この“関係者”の方々にも極力足を運んでいただいていたの入院面談が重要な役割を果たしています。

効率優先で入院面談を省くという考え方もあるかもしれませんが、緊張した面持ちで来院されたご家族から面談終了後に「ありがとうございました。よくわかりました。」という言葉を笑顔でいただくたび、この手間をかける大切さを実感しています。

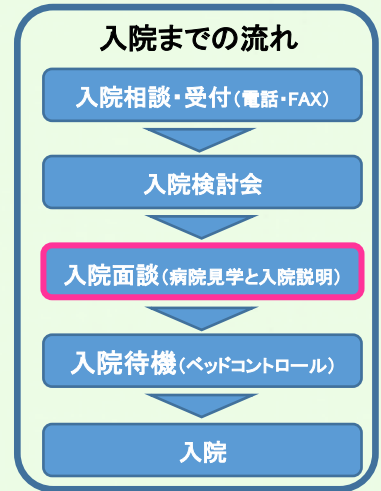


図1. 入院までの流れ

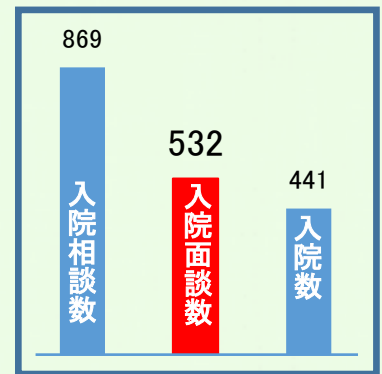


表1. 平成30年度実績



入院面談の様子

毎年恒例!

9/28 開催 当院史上最大「杉リハ健康祭り」のご案内

平成 28 年度より地域住民の皆様をお迎えして健康増進のイベントを開催しています。これまでご好評頂いていた当院のイベントが、今年度は大幅にパワーアップした形で、来る 9 月 28 日に当院で開催致します。

テーマ

『残暑に負けるな！杉リハ健康祭り～5年前の自分に若返ろう～』(3大イベント同時開催！)

①身体チェック

転倒のリスクを判断するバランステスト・日常生活には欠かせない手の巧緻性テスト・高齢者の自動車事故等も増加しており心配になりがちな注意機能のテスト・頭と身体の連動性を測るストループテストを実施します！

②福祉用具説明会

皆様の杖・歩行車は正しく使えているか・日常生活で使える様々な便利グッズの紹介を専門家がを行います！

③健康相談会

歩きの専門家・日常生活動作や家事の専門家・飲み込みや言語機能の専門家が皆様の普段聞けない悩みの相談に乗らせて頂きます！

番外編：

当院の概要の説明や骨折、脳卒中のリハビリは何を行うかなど、わかりやすく掲示します！また、空いた時間に楽しめるゲーム等、企画が目白押しです。

★参加して頂いた方には、ご家庭で実施出来る自主トレーニング表、配布予定です！



ご予約方法

杉並リハビリテーション病院代表【03-3396-3181】に電話し、「杉リハ健康祭りの予約で電話しました」とお伝え下さい！ ※定員に達し次第、予約を締め切らせて頂く場合があります。ご了承下さい。

杉並リハビリテーション病院史上最大のイベントに是非、ご友人も連れてご参加下さい！

当日、当院でお待ちしております！

リハビリテーション科 理学療法士 ながた ゆうた 永田 勇太

患者さまの声 (接遇委員会より)



- ・リハビリ、看護・介護の方も親身になって対応していただき感謝の念でいっぱいです。担当の各位もいろいろと相談に乗っていただき心強く思いました。まだ不十分ですがここまで機能回復していただけたこと入院時は考えられませんでした。ただただ深謝です。
- ・皆さんに優しくしていただき感謝しています(と本人が言っています)年寄りゆえわがままもあったと思います。対応ありがとうございました。フェイスブックも拝見しています。皆さん頑張ってください。
- ・入院生活は自分の病気の後遺症の不便さを看護師の皆様にお世話になりながら大変ありがたく思いました。スタッフの皆様には少しでも良くなっていただきたいという願いが伝わり、1日1日のリハビリを存分に理学等で知識を還元し、発揮していただきましてこの病院で治療できましたことを大変感謝申し上げます。



←facebook はこちらからどうぞ

(原文のまま掲載しております)

貴重なご意見ありがとうございました！！

◆ 令和元年5月～8月入院患者数と紹介元医療機関

5月から8月の4か月間における新入院患者は130名、回復期リハビリテーション病棟より2名、紹介元医療機関は以下の通りです。

(順不同、敬称略)

TMG あさか医療センター、大泉生協病院、大久保病院、岡山リハビリテーション病院、荻窪病院、河北総合病院、吉祥寺南病院、行徳総合病院、杏林大学医学部付属病院、清川病院、久我山病院、国立国際医療研究センター病院、埼玉医科大学総合医療センター、榑原記念病院、佐々総合病院、三楽病院、順天堂大学医学部附属練馬病院、城西病院、聖路加国際病院、関町病院、田中脳神経外科病院、調布病院、東京医科大学病院、東京衛生病院、東京警察病院、東京女子医科大学病院、JR東京総合病院、東京山手メディカルセンター、東邦大学医療センター大橋病院、中野江古田病院、新渡戸記念中野総合病院、練馬光が丘病院、浜田山病院、東大和病院、日野市立病院、保谷厚生病院、三鷹中央病院、宮崎クリニック、武蔵野赤十字病院、山中病院、立正佼成会附属佼成病院、他1カ所

以上、42カ所 ご紹介ありがとうございました。

～当院の現況～

	2019年6月	2019年7月	2019年8月
ベッド稼働率	98.5%	97.5%	95.5%
入院延べ患者数	3,022人	3,091人	3,024人

在宅復帰率(直近3ヶ月)…93.9%

重症患者割合(直近6ヶ月)…42.0%

重症患者回復病棟改善割合(直近6ヶ月)…53.5%

※日常生活機能評価で10点以上の新規患者割合

※重症患者のうち4点以上改善している者の割合

交通のご案内



■JR中央線・総武線 西荻窪駅下車 北口 徒歩2分

編集後記

「患者さまの声」の欄にて掲載させていただきましたが、皆さまからとてもうれしいお声をいただきました。回復期病院の我々の唯一にして最大のミッションは「患者さまの在宅復帰」。全職員が一丸となって取り組んでおりますので、このようなお声をいただくことがなによりの喜びです。この場をおかりして感謝申し上げます、より一層精進してまいります。

(編集委員)

医療法人社団 哺育会
杉並リハビリテーション病院

内科・リハビリテーション科

■発行 行：杉並リハビリテーション病院

■発行責任者：門脇 親房

■編集 集：総務課

<http://www.suginami-reha-tokyo.jp/>

〒167-0042

東京都杉並区西荻北 2-5-5

TEL:03-3396-3181 (代)



facebook でも最新情報

を配信中♪